



愛知医科大学大学院 看護学研究科

修士課程

AICHI MEDICAL UNIVERSITY
Graduate School of Nursing 2024

愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士課程)について

愛知医科大学大学院看護学研究科は、高度専門職業人にふさわしい看護実践者として、これからの看護研究・教育・管理に貢献できる人材を育成するために、2004年4月に開設しました。

その後、2007年度に感染看護学領域において高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースを開設し、2015年10月には高度実践看護師(診療看護師[NP])コースにおいて、特定行為研修制度の研修機関として厚生労働省から指定(38行為21区分)を受けるなど着実に発展を遂げ、更なる看護学の発展に寄与する人材の育成を行っています。

研究科長あいさつ



Message from the Dean

研究科長
坂本 真理子
Sakamoto Mariko

愛知医科大学大学院看護学研究科は、2004年の開設から19年が経過しました。これまで送り出した170名の修了生たちは、本研究科で培った知識や技術をもって全国各地の保健医療機関や教育機関などで活躍しています。

近年の大きく変化する社会情勢のもと、保健・医療・福祉のしくみも変わろうとしています。こうした変化の中で、自ずと看護職の役割や地域社会での活動場所も拡大し、多様化してきています。多くの看護職が今まさに、今日的な課題を実感しながら、悩み、実践に取り組んでおられると思います。

看護教育の高等化が急速に進み、実践家である看護職が大学院で学べる機会が増えました。本研究科では、実践家である皆さんが日常の看護実践で気になっている現象を紐解くことから始めます。自らの体験を語り、自分自身の考えを整理し、議論しあうプロセスを通じて、自分の研究テーマを精錬させ、新しい知を創造し、発信できるように研究を進めていきます。このプロセスは、経験知であった看護を可視化し、共有の財産である理論知としていくプロセスでもあります。

また、本研究科では高度実践看護師(CNS・NP)コースを持ち、高度実践看護のパイオニアとして臨床で活躍できる人材を育成しております。すでに一定の実践経験を持つ看護職が更に質の高い看護実践をめざすためのキャリアパスの機会として活用していただきたいです。

最後に、本研究科では夜間開講や長期履修制度等、社会人が学びやすい教育環境を整えています。自らの可能性に挑戦し、共によりよい社会の創造に向けた看護学の追求に共に取り組んでみませんか。皆様のご入学を心からお待ちしております。

教育理念

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点を加味した看護学を教授し、卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度実践看護者を育成するとともに、研究・教育を通して看護学の発展に寄与する。

教育目標

- 1 高度な知識・技術と卓越した実践能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 2 看護の質向上に寄与する研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 3 国際的視野を持って、看護・看護学を探究しつづける人材を育成する。
- 4 看護学の学問的発展に寄与できる研究者・教育者を育成する。

学 位

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点に基づく卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を身に付け、高度専門職者として優れた能力ないし教育・研究活動に貢献できる能力を修得した者に、修士(看護学)の学位を授与する。

募集人員

15名



担当教員研究内容一覧

教育研究分野・専攻領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	看護管理学	修士論文
母子看護学	母性看護学	
成人・老年看護学	慢性看護学	
精神・在宅・地域看護学	精神看護学	
	在宅看護学	
高度実践看護学	感染看護学	修士論文
		高度実践看護師(専門看護師[CNS])
	臨床実践看護学	修士論文
		高度実践看護師(診療看護師[NP])

担当教員研究内容一覧



看護管理学領域

山中 真 教授

- 転倒外傷予防
- 看護師の実践技術の量的評価



看護管理学領域

山本 恵美子 准教授

- 組織の安全文化構築に向けた教育開発に関する研究
- 多職種連携教育に関する研究
- 卒前・卒後の一貫した医療安全教育に関する研究



母性看護学領域

山本 弘江 准教授

- 夫婦に対する産後うつ病の早期発見とスクリーニングに関する研究
- 子育て期の家族のメンタルヘルスに関する支援の検討
- 親の育児ストレスに関する研究



慢性看護学領域

谷口 千枝 准教授

- 行動変容に関連する心理・社会的要因の分析
- 禁煙行動に関する疫学研究
- レセプトデータを用いた疾病と生活習慣との関連分析



精神看護学領域

心光 世津子 教授

- 精神科病棟看護における自己決定支援に関する学際的研究
- 精神障害からの回復・リカバリーに関する研究
- セルフヘルプ・グループやピアサポートに関する研究



在宅看護学領域

佐々木 裕子 准教授

- 在宅ターミナルケアに関する研究
- 小児在宅ケアに関する研究
- 地域・在宅ケアで取り組む災害対策と要配慮者支援に関する研究
- 在宅看護教育に関する研究



地域看護学領域

坂本 真理子 教授

- コミュニティ・ヘルス・ワーカーの在日外国人支援における適応について
- 多文化に対応する子どもと親のための健康教育ハンドブックの開発
- 保健師の歴史に関する研究



地域看護学領域

若杉 里実 教授

- 地域看護活動に関する研究
- 保健師の人材育成に関する研究
- 地域看護学教育に関する研究
- 看護学生の慢性疼痛教育に関する研究



感染看護学領域

青山 恵美 准教授

- 医療関連感染予防に関する研究
- 感染管理, 感染症看護に関する研究
- 結核感染予防に関する研究



臨床実践看護学領域

泉 雅之 教授

- 医療コミュニケーションに関する研究, 認知症の臨床



臨床実践看護学領域

黒澤 昌洋 准教授

- 診療看護師(NP)・看護師特定行為実践に関する研究

昼夜開講制・長期履修制度

医療等の現場で活躍している看護師・保健師の方々が退職や休職することなく学べるよう、配慮しています。

また、2015年度入学生からは職業を有している等の事情により、標準修業年限での履修が困難な学生を対象として、修業年限を超えて計画的に履修し、修了することができる「長期履修制度」を導入し、社会人の学びやすさを支援する体制を取っています。



社会人比率	2023年度入学者	15名中15名(100%) [長期履修制度を利用する学生:1名]
	2022年度入学者	13名中13名(100%) [長期履修制度を利用する学生:1名]
	2021年度入学者	13名中13名(100%) [長期履修制度を利用する学生:7名]
	2020年度入学者	12名中12名(100%) [長期履修制度を利用する学生:1名]

研究指導体制

本研究科における指導体制は、少人数で個別的な指導を行うことを旨としています。このため、初学者であっても確実に研究のプロセスを学習しつつ、論文を作成できる体制を取っています。



研究環境

■ 院生用研究室

大学院生には、研究活動等で利用するための研究室を整備しています。24時間利用可能で、パソコン、机、保管庫・ロッカーを設置しています。



■ 総合学術情報センター(図書館部門)

医学・看護学及び関連分野の学術情報を収集・管理し、教育・研究・診療を支援する専門図書館があります。図書約10万冊、視聴覚資料約1,500点、学術雑誌約4,000タイトルを所蔵しており、学内外を問わずどこからでも所蔵状況を確認することができます。利用にあたっては、医療情報の専門家である図書館員が検索のコツや利用上の相談にも気軽に応じます。平日は22時まで利用できることに加え、毎週土曜日及び一部日曜日にも開館しており、利便性の向上に努めています。



■ 総合学術情報センター(情報基盤部門)

先進的な設備や最新のICT技術を導入し、学習支援環境の整備に積極的に力を注いでいます。課題解決(表分析、レポート作成等)などで、利用時間内であれば自由にパソコンが利用でき、操作支援やトラブルの対応には専門スタッフがサポートします。

特別講義

看護の展望や看護の探求心,知的好奇心を育成するとともに,看護職者としての意識の改革,看護に対する関心への動機付けを狙いとして,年に数回開講しています。



修了生へのサポート

本研究科では,修了生に対してのフォローアップ,キャリアサポートを目的とし『修了生連絡会』を設置しています。『修了生連絡会』では専用のメーリングリストを作成し,本研究科で開催するイベントの情報を発信したり,研究科担当教員及び修了生相互の情報交換の場として運用されています。



国内外の大学との交流

国際性

国際的な視野を広げるため,本学協定校であるケース・ウェスタン・リザーブ大学(米国),サンディエゴ大学(米国),オウル大学(フィンランド),マハサラカム大学(タイ王国)およびシンガポール国立大学(シンガポール)への海外研修の機会が準備されており,旅費の一部を助成する制度があります。

また,協定校の教員による遠隔講義により,日本とは異なる海外の大学院教育に触れ,海外の研究者・看護実践者と意見交換をする機会があります。

国内における交流

臨床実践看護学領域では,他の看護系大学大学院との協力などによる講義・演習を行っています。

科目等履修生制度

科目等履修制度は,本研究科において開講している授業科目の「単位修得」を目的として入学する制度です。本研究科において履修した科目は試験等で総合的に判断し,単位を認定します。認定された単位は,15単位を限度として,入学後に単位を認定することができます。

職業実践力育成プログラム(BP)

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは,大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として,大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定するものです。

本研究科高度実践看護師(診療看護師[NP])コースは平成30年度に,高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースは令和元年度に認定されました。



教育訓練給付金(専門実践教育訓練給付金)

高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース及び高度実践看護師(診療看護師[NP])コースは,厚生労働大臣より,教育訓練給付金の専門実践教育訓練として指定を受けています。一定の条件を満たせば,2年間で最大112万円の給付が受けられます。

※専門実践教育訓練給付金の制度等の詳細につきましては,ハローワークや厚生労働省のWebページも併せて必ずご確認ください。

修了生からのメッセージ

Senior Message

看護学と医学を兼ね備えた
診療看護師(NP)の役割を見出し、
必要な存在として認められるよう
努力していきます

山口労災病院

臨床実践看護学領域
高度実践看護師(診療看護師[NP])コース



中野 智子さん

2023年3月修了

臨床実践を積む中で、患者さんの病態や合併症などの理解を深める必要性を感じ、患者のニーズも踏まえた看護学と医学の両面の視点から介入できるようになりたいと思い進学しました。

大学院では、ご高名な講師方からのご教授をはじめ、シミュレーション教育では、思考を言語化することの重要性や人に伝えることの難しさなど学びが多く、課題が明確になりました。また、研究室やシミュレーション設備、図書館など学ぶにはとても恵まれた環境でした。実習では、医師や先輩診療看護師(NP)による熱心なご指導を頂き、充実した実りの多い機会となりました。

今後は、これらの学びを活かし、患者さんを中心としたチーム医療のキーパーソンとなり、医師をはじめとした多職種の方々と協働して実践を重ねていきます。

多角的な視点を持った
看護師として、
貢献していきたい

愛知医科大学病院

臨床実践看護学領域
高度実践看護師(診療看護師[NP])コース



宮田 真澄さん

2023年3月修了

私が本コースへの進学を決めた理由は、医学的知識や医師の思考過程を知り、多角的な視点を持つ事で、自身の看護実践力を高めたいと考えたからです。

生理学や薬理学などの医学講義に加え、臨床推論や疾病特論などで得た知識を、シミュレーションを通して身に着ける事が出来ました。実習ではアセスメントや臨床推論を展開し、診療看護師(NP)としての様に患者介入すべきか考えさせられる機会となりました。実習先の指導医や先輩の診療看護師(NP)の方から助言を受け、新たな知識を得た事が良い学びとなりました。

今後は、大学院で得た知識を基に自己研鑽を続け、患者さんや施設に貢献していきたいと思えます。

学んだことを訪問看護の
感染対策に活かしたい

名古屋市中・東訪問看護ステーション

高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース



林 礼さん

2023年3月修了

私は、訪問看護ステーション勤務時に感染対策の重要性を感じ、理解を深めたいと思い、CNSコースに入学しました。

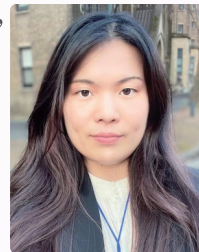
授業・実習では、専門分野の先生方の貴重な講義を拝聴でき、医学・看護学領域ともに疑問に感じていたことを解決に導く学習ができました。研究活動では、先生方の丁寧なご指導を頂き、自身の取り組む課題を見つけることができました。

今後は再び訪問看護の現場で、学んだ知識を職場の皆さんと共有し、在宅領域における感染対策や看護実践を考えていきたいです。日々進歩する医療に対してアップデートを心がけ、ご利用者様・ご家族の療養生活を支援できる感染症看護を実践していきたいと思えます。

今まで学んだ知識を融合し、
日本と中国の間で
看護の橋を架ける

虎の門病院

慢性看護学領域 修士論文コース



徐 彤彤さん

2023年9月修了

中国では、解放军総病院の救急病棟で2年間勤務しており、働きながら知識不足を感じていました。当時、病院側が主催された学術集会と出会い、私はボランティアとして参加しました。そこで日本の看護と医療が優れていることを知り、日本へ留学したいという考えを生み、来日しました。来日後、日本語学校へ1年間通い、科目等履修生を経て大学院に進学しました。在学中は、「修士論文の作成」と「日本語の習得」という、2つの困難がぶつかり合いましたが、私の中では貴重な経験であり、修士課程の中で出会った先生方と同期は、私の一生の宝です。

大学院を修了後、現場経験を積みみたいと思い、臨床に戻りましたが、日本にいても、帰国しても、大学院で学んだ知識を活かしたいと思っています。

臨床や教育で体験した
疑問について振り返り、
考えることができた

日本福祉大学看護学部 教員

地域看護学領域 修士論文コース



南 千晴さん

2022年3月修了

入学前に約2年間科目等履修生として過ごす中で、広く看護学を探究することに関心を深め、大学院へ進学しました。

大学院の科目では、臨床実践及び看護教育を経験する中で、心に引っかかり続けていた場面に就いて振り返り、思考・行動を明らかにしながら、体験を意味づける作業ができたことは、私の財産となりました。看護・教育の実践において、他者をケアするためには、まずは自分自身をケアし、承認していくことが必要であることを改めて実感しました。

今後は、大学教育に携わりながら、産業看護学分野での研究等を通じ、社会に貢献していきたいと思えます。

「看護とは何か」を
解決するため

日本赤十字豊田看護大学 教員

看護管理学領域 修士論文コース



谷口 純平さん

2017年3月修了

私が大学院への進学を決めた動機は、「看護とは何か」という疑問を解決するためでした。

大学院では看護管理学を専攻し、自身の研究についてはもちろんのこと、看護の質の向上やリスクマネジメントなど管理に関する内容を多角的な視点で学習することが出来ました。

これらの学びは、現在働いている臨床の中で、安全な患者管理や看護師の育成などに役立っていると感じています。ですが、「看護とは」という答えは見つからないので、大学院での経験を活かして自分自身の「看護とは」を見つけることが今後の課題です。

修士論文コース

各分野の第一人者を講師として招き、幅広く専門的な看護学を教授

修士論文コースは、8つの多彩な専攻領域を設置し、看護実践者の研究能力の向上と看護教育・管理に貢献できる看護職者の質的向上をめざした教育を行っています。働きながら学修を続けることができるよう、平日の夜間や土曜日などに開講しています。

カリキュラム

	授業科目	配当年次	単位数		修得すべき単位数
			必修	選択	
共通科目	現象学的看護学	1		2	当該指導教員と相談して選択(計14単位以上) 必修以外から
	看護理論	1	2		
	看護倫理	1	2		
	看護教育論	1		2	
	看護管理論	1		2	
	看護研究方法論Ⅰ	1	2		
	看護研究方法論Ⅱ	1		2	
	コンサルテーション論	1		2	
	看護政策論	1		2	
	国際看護学	1		2	
	英語文献講読	1	2		

	授業科目	配当年次	単位数		修得すべき単位数
			必修	選択	
専門科目	看護管理学特論Ⅰ	1		2	(1) 専攻領域の講義科目 4単位 (2) 専攻領域の演習科目 4単位
	看護管理学特論Ⅱ	1		2	
	看護管理学演習	1		4	
	母性看護学特論Ⅰ	1		2	
	母性看護学特論Ⅱ	2		2	
	母性看護学演習	1		4	
	慢性看護学特論Ⅰ	1		2	
	慢性看護学特論Ⅱ	1		2	
	慢性看護学演習	1		4	
	精神看護学特論Ⅰ	1		2	
	精神看護学特論Ⅱ	2		2	
	精神看護学演習	1		4	
	在宅看護学特論Ⅰ	1		2	
	在宅看護学特論Ⅱ	1		2	
	在宅看護学演習	1		4	
	地域看護学特論Ⅰ	1		2	
	地域看護学特論Ⅱ	1		2	
	地域看護学演習	1		4	
	感染看護学特論Ⅰ	1		2	
	感染看護学特論Ⅱ	1		2	
感染看護学演習Ⅰ	1		4		
特別研究(修士論文)	2		8	(3) 特別研究 8単位 (計16単位以上)	

助産師として幅広い視野・精巧な知識・考えを持ち、
学びを深めていきたい

| Senior Message

母性看護学領域(修士論文コース) 黒田 愛理さん

第2学年

助産師として働く中で、本当に患者さんのための看護ができていのだろうかという疑問を抱き、幅広い視野やより精巧な知識、考えを持つことを志し、学問としての看護の学びを深めたいと思い、大学院への進学を決意しました。

大学院では、分野の異なる経験豊富な他の学生達から学ぶことが多く、一つ一つの授業がとても刺激的で活発な意見交換が行われています。"看護とは何か"と見つめ直し、深く考えることの大切さを感じ、充実した時間を過ごしています。

将来的には自分の学びを、看護の教育の場で活用することも視野に入れ、日々励んでいます。



高度実践看護師（専門看護師[CNS]）コース

感染看護学分野の高度実践看護師を育成

感染看護学領域は、専門看護師教育機関として認定を受けており、修了者は公益社団法人日本看護協会が実施する専門看護師認定審査（感染症看護）の受験資格が得られます。

教育方針

高度実践看護師（専門看護師[CNS]）コースは、対象のクオリティ・オブ・ライフの向上を目的として、キュアとケアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使し、個人・家族・集団・地域に対して、卓越した感染予防ケアと感染管理を実践する高度実践看護師の育成を目指します。

課題研究では、医療関連施設における感染症患者及び易感染患者のケア、感染症に伴う倫理的問題への介入、施設及び地域における感染管理活動、災害時の感染防止、感染症集団発生時の疫学調査と感染拡大防止対策などについて探求し、感染看護学の発展と看護の質向上に寄与する研究論文の作成を目指します。



カリキュラム

	授業科目	単位数	修得すべき単位数
共通科目名	看護理論	2	8単位以上
	看護倫理	2	
	看護教育論	2	
	看護管理論	2	
	看護研究方法論I	2	
	コンサルテーション論	2	
	看護政策論	2	
	フィジカルアセスメント	2	6単位
	臨床薬理	2	
	病態生理学	2	

	授業科目	単位数	修得すべき単位数
専門科目名	感染看護学特論I	2	18単位
	感染看護学特論II	2	
	感染看護学特論III	2	
	感染看護学特論IV	2	
	感染看護学特論V	2	
	感染看護学演習I	4	10単位
	感染看護学演習II	4	
	感染看護学実習I	3	
	感染看護学実習II	4	
	感染看護学実習III	3	
課題研究	4	4単位	

合計：46単位以上

感染症にまつわる現象を言語化・共有し、質の高い看護を目指す

感染看護学領域 高度実践看護師（専門看護師[CNS]）コース 木下 紀道さん

第2学年

私は、コロナ禍で中間管理職として様々な課題に取り組む中、たびたび自分の力量不足を痛感しました。もっと広い視野を得て、患者さんやスタッフをエンパワーできる存在になりたいと思い、進学を決めました。

CNSコースでは、感染症に関する看護実践はもちろんのこと、倫理、教育、研究など、専門看護師に求められる知識を体系的に学ぶことができます。先生や学友に支えられ、課題を乗り越えた時の達成感は何ものにも代え難いものがあります。他施設のCNSなど、多くのロールモデルと出会えたことは、一生の財産となりました。

卒業後は、感染症にまつわる現象の言語化をとおして共通理解を促進し、より良い看護へと繋げることができる専門看護師を目指します。

Senior Message



高度実践看護師（診療看護師 [NP]）コース

診療看護師 (NP) とは

病気を診断し治療を行うナース・プラクティショナーという看護師が海外では活躍しています。この役割の一部を担う看護師が診療看護師 (NP) です。診療看護師 (NP) とは、「患者のQOL向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」です。愛知医科大学大学院看護学研究科では、日本NP教育大学院協議会の養成教育カリキュラムに基づき、診療看護師 (NP) の養成を行っています。

診療看護師 (NP) の特徴とは

診療看護師 (NP) は、看護学を基盤として、診療とケアを統合した高度実践看護を実践することができる看護師です。特徴的な違いとして、これまでの看護学の知識・技術に加えて、医学的な視点を学ぶことによって、病気の診断技術と治療管理技術を修得します。加えて、厚生労働省「看護師の特定行為に係る研修制度」を通じて、38行為21区分の特定行為研修を行っています。



本学の特徴

2コース同時開講

本学では、クリティカルケアコースとプライマリケアコースの2コースを開講しており、日本NP教育大学院協議会主催・NP資格認定試験、クリティカル又はプライマリ(成人・老年)領域の受験資格を得ることができます。

教育利点

医学部が併設しているメリットを生かし、薬理学、生理学などの基礎医学に関する科目は、医学部と同様の教育を受けることができます。また、臨床経験豊富な医師や先輩診療看護師 (NP) の講義によって、臨床実践能力の向上を目指すことができます。加えて、診療看護師 (NP) 資格をもつ看護教員が在籍しており、看護の視点を持って学ぶことができます。

合格率 100%

本コースは、平成22年度に日本NP教育大学院協議会の診療看護師 (NP) 養成教育課程の認定を受け、現時点までの修了生の認定試験合格率は100%です。

患者さんにとって最良の医療・看護とは何か追及し続けたい

Senior Message

臨床実践看護学領域 高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

清水 薫さん

第2学年

私は急性期病棟、集中治療を経験し、目の前の患者さんにとって最良の医療・看護とは何か疑問を持つようになり、病態をもっと深く知る必要があると考えました。そして、知識が豊富な診療看護師 (NP) の先輩の存在もあり、大学院に進学を決めました。

大学院では解剖学や生理学、薬理学など、より深いレベルでの病態や治療を学び、臨床推論やシミュレーション教育では倫理的かつ科学的な根拠に基づき、実践的に医学の視点と看護の視点を深めることができました。また同期の考えや看護観に刺激を受け、講義内のディスカッションでも学びが多く、充実しています。

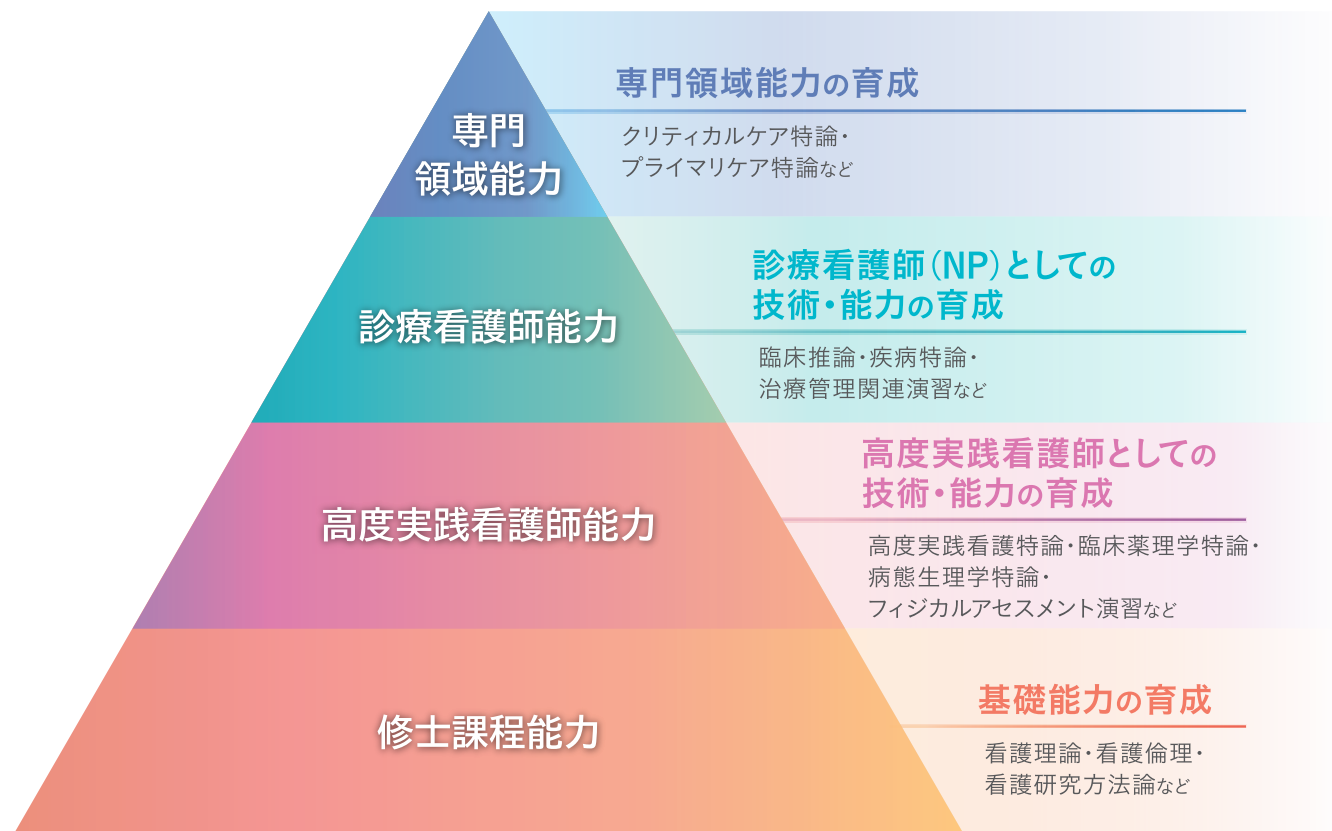
これまでの学びを糧に医師や多職種と連携・協働し患者さんにとって最良の医療と看護を提供できるよう、今後も邁進していきたいです。



高度実践看護師（診療看護師 [NP]）コース

カリキュラムの特徴

諸外国の高度実践看護師養成教育モデルを参考に、段階的に、系統化された教育を積むことで看護学修士としての看護の視点を伸ばしつつ、診療看護師(NP)として必要な知識・技術を修得することが可能です。加えて、クリティカルケアコースとプライマリケアコースの両コース開設によって、より専門性を深めた教育を自身のキャリアプランに沿って学ぶことができます。



充実した学習・実習環境

診療看護師[NP]コースでは、専用の演習室を備えています。臨床推論ソフト、気管挿管、動脈穿刺、縫合シミュレーターや超音波診断装置も常備されています。シミュレーションセンターでは、高機能シミュレーターを用いて、シミュレーションを行っています。

学修は、ICTを活用した学修支援システムにより、自宅でも文献検索やレポートの提出ができ、社会人が学修しやすい支援を行っています。大学院生には、子育てをしながら進学する方も多くなっています。

実習は、愛知医科大学病院だけでなく、地域の中核病院、在宅診療専門クリニック、山間部や離島などのへき地の診療所などでも実習を行い、高度先進医療から地域医療まで幅広い対応が可能な診療看護師(NP)の育成を目的としています。



カリキュラム

授業科目		単位数	修得すべき単位数
共通科目	看護理論	2	計10単位以上
	看護倫理	2	
	看護研究方法論I	2	
	英語文献講読	2	
	看護教育論,看護管理論,コンサルテーション論,看護政策論(選択)	2	
専門科目	高度実践看護特論	1	計58単位
	チーム医療・看護管理特論	2	
	保健医療福祉システム特論	2	
	臨床薬理学特論	3	
	病態生理学特論	5	
	疾病特論	4	
	臨床推論	3	
	フィジカルアセスメント演習	2	
	呼吸器・循環器治療のための実践演習	5	
	ドレーン管理のための実践演習	2	
	疾病と治療 カテーテル管理と創傷管理	3	
	疾病と治療 薬物治療I	2	
	疾病と治療 薬物治療II	3	
	人体構造演習	1	
NP実習	20		
選択科目	クリティカルケア特論(選択)	2	計2単位以上
	プライマリケア特論(選択)	2	
課題研究	課題研究	4	計4単位

※診療看護師[NP]コースの専門科目における講義および実習は、昼間に実施されます。

合計：74単位

愛知医科大学奨学金制度

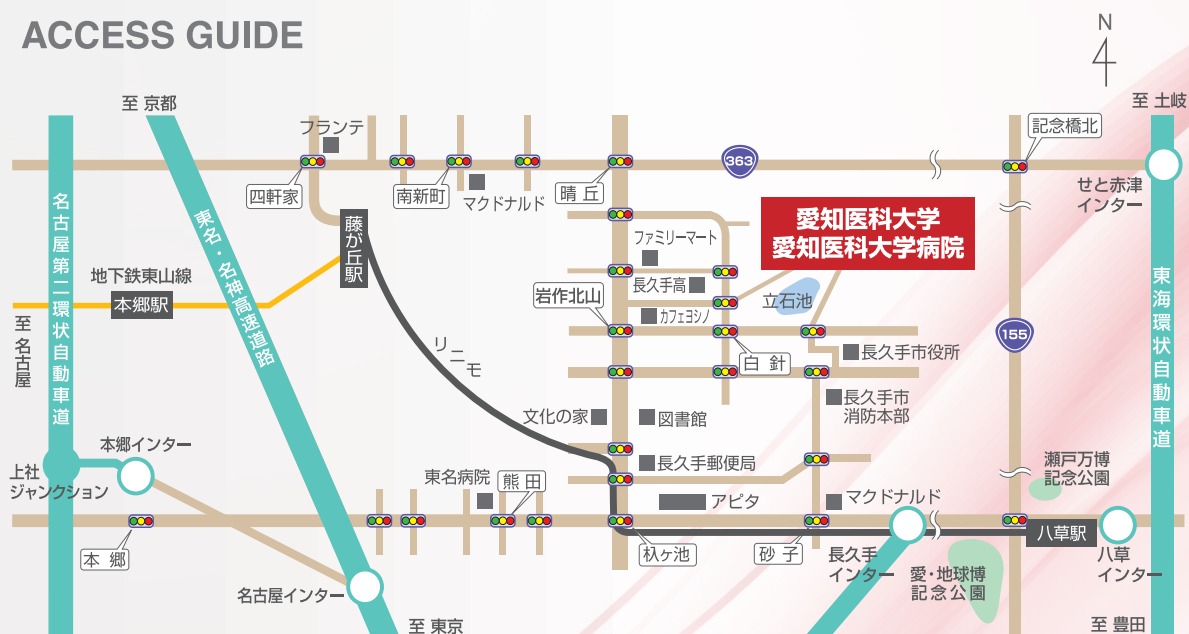
高度実践看護師(診療看護師[NP])コース修了後に、愛知医科大学病院に診療看護師(NP)として業務に従事することを希望する学生については、奨学金を受けることができます。

奨学金の月額等

奨学金額(月額)	貸与期間	貸与総額	返還免除までに要する期間
200,000円	24か月	4,800,000円	48か月

- ※1 奨学生の選考は、入学後に実施します。(4名程度を予定)
- 2 次の場合は、奨学金を一括返還いただきます。
- ・課程修了しなかった場合
 - ・課程修了後、愛知医科大学病院に就職しなかった場合
- 3 愛知医科大学病院で勤務した月数に応じ、次により計算して得た額の返還債務を免除します。
- 貸与を受けた額÷返還債務免除までに要する期間×勤務した期間

ACCESS GUIDE



■幹線道路から

- ①東名・名神高速道路・名古屋インターから車で約15分、長久手インターから車で約10分
- ②名古屋第二環状自動車道・本郷インターから車で約15分
- ③東海環状自動車道・せと赤津インターから車で約30分

■公共交通機関

名古屋駅から地下鉄東山線で「藤が丘」駅まで25分、地下鉄東山線「藤が丘」駅から名鉄バスで約15分

*詳細はホームページをご確認ください。

看護学研究科 入試説明会

詳細はホームページをご覧ください

入試説明
特設ページは
こちらから▶



[お問い合わせ先]

愛知医科大学看護学部教学課大学院係

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

TEL: 0561-62-3311(代表) <直通> TEL: 0561-61-1827 FAX: 0561-63-1093

E-mail: gakumu@aichi-med-u.ac.jp

URL: <https://www.aichi-med-u.ac.jp/>



UNIVERSITY
ACCREDITED
2021.4-2028.3

財団法人大学基準協会
「大学基準適合認定」